

経産省前テントひろばニュース
テント強制撤去から3438日原発再稼働糾弾！

第327号

編集・発行
テントひろば運営委員会

2026年新年経産省前抗議行動の報告—柏崎刈羽原発を動かすな！—

「経産省前テントひろば」は、新年5日(月)に経産省への抗議集会を開催し、60名を超す仲間たちが年初の経産省へ向けた抗議を行った。2026年の年明け3日には、米国トランプ政権がベネズエラで住民40名以上を殺して、大統領を拉致した事件もあって、私たちは脱原発と戦争反対を併せて訴えた。以下、その概要を報告する。

開会あいさつ

世間では福島事故があたかも無かったことにされているが、私たちは福島の原発事故を絶対に忘れる訳にはいかない。15年前の9月、そうした思いでこの経産省前でテントを張り、座り込みを始めた。これからも力の限り、続けます。

皆様よろしくお願ひします。

佐藤 保さん

私たちは脱原発と戦争反対を訴える。新潟県議会で柏崎刈羽原発6号機再稼働の「地元同意」が進められ、1月20日に再稼働と報道されたが、耐震設備、プラントの安全性にも課題があり、規制庁と東電との動向などを注視している。

木村雅英さん(司会)

【市民の力で社会を変えていく】

上村英明・衆議院議員(れいわ新選組)

アメリカは中南米を裏庭だしてきた帝国主義の国家だ。ベネズエラをアメリカの管理下に置こうと、彼らは軍隊を派遣した。高市政権の日本がアメリカの同盟国として関係を強化するのは考え直すべきだ。

東京電力は福島の問題が未解決段階のまま、手練手管を使って原発を再稼働させようとしている。高市政権は、日本社会で原発を新しい経済の軸にするなどと言い、県議会の議決を得た新潟知事は、県民の合意を得たと言うが、こうした言動はこの国での「決定」がいかに一方的なものかを示している。

私たちがやることには、正義がある。過去の行動をきちんと振り返り、それを教訓にして、それらがどういう風な社会正義に結びつくのかということを、一人一人が考えて前に進んでいくことが大事。私たちも原発再稼働、原子力利用等の問題に対して厳しい姿勢で国会へ臨みたい。

【柏崎刈羽を動かすな】

菅井益郎さん(国学院大学名誉教授・市民エネルギー研究所)

柏崎は東電に侵略されている。東電が発電する電力は首都圏に来る。電力は東京へ、放射能は新潟に落とす。私の田舎は柏崎、以前はア

雪が4mも積もった。避難等はできない。廃棄物処理、放射能対策も見通しは立っていない。日本の産業は国策民営だが、再稼働には県



民がその是非を決めるべき。(写真は、発言中の菅井さん)

04年に中越地震、07年にも中越沖地震があり、原発近くの海の中の大断層が動いて柏崎刈羽原発は全部止まった。6, 7号機再稼働を、と資金をつぎ込んだが11年には全部止まった。

花角知事は、平山、泉田、米山ら歴代県知事による検証委員会を振り返り、「県民の信を問う」と約束して当選したが、県民投票条例を作らず県議会の賛成だけで県民の信を得たと、県民を裏切った。

【被ばくは「生涯、虐待」!】

守屋真実さん; 唄「座込め、ここへ」、「ああ、福島」

鎌田七男さん(88歳・血液内科医師)が被ばくのことを「生涯虐待」と、自著『爆心を見つめて』に書いている。一度被ばくしたらいつ発症するか、いつ癌になるか、いつ白血病になるかと、常に不安に脅かされる。

【被害者の声をしっかり聞いて】

鴨下美和さん(福島原発被害東京訴訟原告)

14年前のあの日、突然に住家だけでなく人生そのものを奪われた。以来、いわき市から理不尽な避難生活を強いられ、私と息子は長引く悲惨生活で心身を病んだ。本来なら人が生活すべきでないほど汚染された場所に、今なお多くの人が暮らさざるを得ない福島県では、いま急性心筋梗塞で亡くなる人が全国平均の2倍を超えていた。他に(裏面へ)

もいくつかの心身患とか脳血管障害の病気の増加が報告されている。

今日この場所に来ることができなかった夫は、進行性の癌と闘っていて、一昨年は腸を大きく切り、昨年は肺に転移したがんも切った。彼はあの日、避難せずにいわきに残り、おびただしい放射能汚染を浴びた。無理してでも一緒に逃げようと言わなかつたんだろうと、後悔している。

私たちは国と東電を訴えて2013年に裁判を起こし、18年には東京地裁で国と東電を共に厳しく断罪する少数の判決を勝ち取ったが、23年の東京高裁は国の責任を認めなかつた。それは、22年の最高裁で思考停止の、非常に薄い判決と同じだった。原発事故以来、私もそれまでの人生で一度も味わつたことのない辛い経験、理不尽な思い、偽り、人間の醜さや恐怖に苦しんできた。今年は私たちの裁判は結審し判決を迎えます。全国でも大阪や九州をはじめ各地で国と東電を訴えている裁判の判決が続きます。どうか皆様応援してください。

=テントひろばの仲間からの発言=

【おろかな福島イノベーションコースト構想】乱 鬼龍さん

原発事故っていうのは終わっちゃつたから火が消えたから良かったねって話じゃない。次の世代もまたそれなりに引きずっている。

そういうもので電気を起こす必要なんか全くない。こんなものにこだわるのは日本の核武装の為。そういうことをやめさせる力を我々が作っていくこと、日本の自治とか民主主義とか平和とか人権とかにみんなつながる。福島では「イノベーションコースト構想」に今後5年間に30兆円程の税金を投入して、あらゆることをやろうとしている。

【私たちはかく闘う】座り込み担当から

○アメリカのベネズエラ侵略と高市政権の戦争できる国家づくり。危険なグローバル資本主義と闘おう。日本原電の東海第二の再稼働も止めよう。（久保清隆）

○花角知事が経産大臣に報告に来た昨年12月23日、ここ経産省前にいた。「自らの信を問う」と言うが、自民党のいいなり。F氏は東電事故が核爆発だと、裁判で柏崎刈羽の再稼働を阻止しようとしている。（石上健二）

○腰痛が2日で治った、1日6千歩あるこう。前半は女性、後半は私が対応。（佐藤保）

○木曜は正門前でなく交差点側（以前にテントがあった場所の前）で座込み、チラシ配布効果大。柏崎刈羽を止めるための首相官邸前行動を毎週金曜に、原発カフェを毎月実施。（漆原牧久）

○柏崎刈羽再稼働阻止の裁判が1月14日15時から東京高裁で開廷、ぜひ傍聴を。アメリカにはジェネラルデザインクライティアがあり、核爆発したら絶対ダメ、それが福島第一原発事故の最大原因と主張する。（藤原節夫）



【経産省は憲法前文を守れ】白倉真弓さん

海岸線に原発並べて戦争をすれば、この国を亡ぼす。…（中略）…憲法前文の「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言」して憲法を確定した。経産省の人たちも憲法を守れ。

【合法的殺人をするな】渡辺 善恵さん

ベネズエラ攻撃したトランプは、何をするか分からない。福島では汚染水が流されている。さらに、せっかく集めた汚染土を、ダンプカー200万台分で街中を走って、全国にばらまかれようとしている。許されない。

【柏崎刈羽の再稼働を止める政府交渉】小川 幸子さん

1月8日午後、東電、規制庁と交渉する。翌9日にも、福島からの避難者の福島原発事故被害者訴訟がある、是非ご参加を。

【閉会あいさつ】三上 治さん

柏崎刈羽の再稼働が予定されているが、一番被害を受ける人たちに原発の最終的決定権があるべき。

われわれは、国家や企業の目線ではなくて、自分たちの立場、国民の立場で問題を考え行動していく。

集会・行動予定

- ◆ 1月14日（水） 12時～13時
原子力規制委員会前抗議行動（毎週水曜）
- ◆ 同日（水）
日本原電本店前抗議 17:00～18:00
(住友不動産秋葉原北ビル 台東区上野5-2-1)
東電本店前抗議行動 18:45～19:45
呼びかけ：経産省前テントひろば、たんぽぽ舎 03-3238-9035
- ◆ 1月16日（金） 17時～18時
経産省前抗議集会（毎週金曜）
主催：経産省前テントひろば 場所：経産省正門前
◎ 経産省前の座り込み行動は、平日：12時～16時（月～木）、13～17時（金）◎
- ◆ 同日（金） 18:30～19:45
「柏崎刈羽原発動かすな」抗議行動
場所：首相官邸前
- ◆ 1月23日（金） 13時～
「ペイマン・セアダット駐日イラン・イスラム共和国特命全権大使を囲む」集い コーディネーター：永田浩三・高原孝生
会場：武藏大学2号館5階：西武池袋線「江古田駅」南口より徒歩6分
- ◆ 同日（金） 18:15～19:15
「柏崎刈羽原発動かすな」抗議行動
場所：首相官邸前
- ◆ 1月25日（日） 12時～15時
脱原発・青空川柳句会
主催：経産省前テントひろば・乱鬼龍
- ◆ 同日（金） 16時～18時 脱原発カフェ
会場：テントひろば事務所
報告：堀切さとみさん（映画監督）
参加費：無料 主催：脱原発カフェ実行委員会

«経産省前テントひろば»

住 所：〒105-0003 港区西新橋1-21-8 新虎ビル2F

・電 話：070-6473-1947

・郵便振替口座：00160-3-267170

・口座名義：経済産業省前テントひろば

WEB：<http://tentohiroba.tumblr.com/>

Mail address：tentohiroba@gmail.com